



# 笹小だより

No. 5

平成30年8月27日

横浜市立笹野台小学校

## 「酷暑を超えて、さらにパワーアップ」

校長 飯田 雅人

今年の夏は、異例の早さの梅雨明けにはじまり「酷暑」の一言に尽きる夏でした。熱中症対策には、夏休み前の学校生活でもそうでしたが、夏休みに入っても、それぞれのご家庭で神経を使われたのではないかと思います。また、大阪府北部を震源とする地震、西日本豪雨、次々と日本列島にやってくる迷走台風など、人の手ではどうしようもない自然の力をまざまざと感じさせられた夏でもありました。地域によっては、災害の被害に遭われた方も多くいらっしゃると思います。被災された地方の1日も早い復興を祈るばかりです。

大阪府北部を震源とする地震のブロック塀倒壊による痛ましい事故にともない、本校でも横浜市教育委員会の指示を受け、7月中に学校敷地内及び通学路上のブロック塀安全点検を行いました。特に通学路上の安全点検におきましては、PTA校外委員の皆様を中心に、地域の多くの皆様に快くご協力をいただくことができました。笹野台小学校地域の皆様の子供たちに対する安全意識の高さにご配慮を感じ、あらためて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。何力所か気になるブロック塀も指摘されましたので、早速横浜市教育委員会に報告をしました。その後は市の対応を待っているところです。

さて、夏休みに入ってからすぐに行われた特別水泳教室には、のべ443名の子供が参加しました。学年の先生だけでなく、他学年の先生も指導に入っていたので、子供たちは緊張しながらも、それぞれが自分のめあてを意識して一生懸命に泳いでいました。7月27日（金）には、東希望が丘小学校にて、旭区水泳大会が行われ、中沢小、東希望が丘小、笹野台小の3校の子供が力を競い合いました。本校からは、31名の子供が参加し、練習の成果を発揮しようと頑張り、お互いの仲間を熱心に応援して大会を盛り上げました。その中から区代表として6名の子供が市水泳大会に出場し、横浜国際プールの大舞台上で力を発揮しました。私は、夏休み前の最後の朝会で「ただ、何となく夏休みを過ごすのではなく、“これだけはがんばったよ”ということをも一つでもいいから夏休み中につくってください。」と子供たちに話しました。上に挙げた水泳だけでなく、きっと子供たちなりにがんばったことがそれぞれにあるはずですよ。今日から、心も体もパワーアップした子供たちと毎日過ごせることを楽しみにしています。

昨年3月に公示された新学習指導要領では、これからの時代に求められる、未来を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成するとあります。教師が子供たちの学びの様子をどのように見取って返していくのか、保護者や地域の方々の願いをどのように学習活動に反映していくのか、子供たちの資質・能力を高めるためにどのような協力を求めていくのか、また、社会に貢献する力とはどういうものなのかを保護者・地域の方々と共有していかなければなりません。平成32年度からの全面実施に向けて、少しずつ、着実に準備を進めていくとともに、「元気いっぱい やさしさいっぱい 笑顔いっぱい 心かがやく笹小キッズ」の実現をめざして、教職員一同、さらにパワーアップして一層努力してまいります。今後ともご協力よろしくお願いいたします。